

# 平成30年度 学校教育自己診断 〈保護者〉 結果

H30/11/28実施

回答総数725

		H30 肯定 回答率	H29 肯定 回答率	H28 肯定 回答率
<b>教育活動全般</b>				
1	八尾高校は、教育方針をわかりやすく伝えている	90.1	93.8	92.8
2	八尾高校は、骨太(様々なことにチャレンジし、へこたれない)な生徒を育てようとしている	91.0	93.2	92.0
3	八尾高校は、自分の生き方を考え豊かな心を持った生徒を育てようとしている	89.9	89.9	91.4
4	八尾高校は、子どもに生命を大切にすることや社会ルールを守る態度を養おうとしている	89.8	92.0	92.4
5	八尾高校は、生徒に人権を尊重する意識を育てようとしている	89.7	89.4	91.1
6	八尾高校は、保護者の願いや期待に応えている	83.6	84.7	86.5
7	八尾高校は、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる	84.7	82.7	88.1
8	八尾高校の教育は、勉強・部活動・行事などのバランスがとれている	80.4	83.0	85.5
9	八尾高校の教育システム(50分授業・2学期制・半期単位認定制・3年後期の選択授業等)は、総合的に見て良いシステムである	82.4	87.1	89.3
10	大阪教育大学との連携は良いことである	93.8	94.8	96.1
11	先生は、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている	89.3	87.8	90.4
12	先生は、子どものことをよく理解している	81.6	81.1	85.2
<b>授業・学習指導・進路指導について</b>				
13	子どもは、授業がわかりやすく、内容に興味・関心が持てると思っている	67.9	70.4	73.4
14	先生は、子どもの評価を適切・公平に行っている	90.2	92.3	92.7
15	八尾高校は、生徒の進路実現に向けた適切な指導を行っている	83.9	88.0	88.6
16	学力向上や進路実現に向けた学習支援(講習・補習・模試など)が活発に行われている	87.2	83.4	88.6
17	八尾高校は、進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている	80.8	80.6	82.7
<b>学校生活・部活動・行事</b>				
18	八尾高校は、学校の雰囲気良く、生徒が生き生きとしている	96.5	98.1	98.0
19	八尾高校は、勉強と部活動の両立を大切にすることや雰囲気がある	91.5	92.4	93.9
20	子どもは、部活動や行事から多くのことを学んでいる	93.3	92.3	92.4
21	学校行事に生徒が積極的に参加できるよう工夫されている	90.6	92.2	93.1
22	八尾高校の生徒指導の方針に共感できる	89.3	91.6	93.6
<b>家庭連絡・相談・情報発信</b>				
23	八尾高校は、教育情報について、提供の努力をしている	86.7	88.2	87.4
24	八尾高校は、保護者の相談に適切に応じてくれる学校だと思う	89.9	88.9	90.3
25	八尾高校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる学校だと思う	89.4	90.1	
26	授業参観や懇談、文化祭や体育祭などの学校行事に参加したことがある	94.6	91.9	90.2
27	八尾高校のホームページはわかりやすく充実している	81.5	73.0	75.5
<b>子どもの様子</b>				
28	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている	80.1	87.0	88.6
29	子どもは、学校の様子についてよく話す	64.3	72.8	70.6
30	子どもは、家庭学習に積極的に取り組んでいる	63.9	67.1	68.7
31	子どもは、勉強と部活動の両立を心がけ実行している	73.9	75.7	75.7
32	子どもを、八尾高校に進学させて良かったと思っている	87.8	93.3	95.0
<b>その他</b>				
33	PTA活動は活発に行われている	79.6	89.3	93.2
34	八尾高校の施設・設備は、よく整備されている	69.4	85.7	85.8
35	八尾高校は、校内美化や衛生管理に努めている	77.6	86.3	88.1
36	八尾高校は、子どもの安全や健康管理に十分気を配っている	83.6	90.8	90.4
37	地震や台風など災害時の対応について、子どもや保護者に知らされている	79.0	79.6	85.0

八尾高校がめざす学校像は「質実剛健」にして「文武両道」に励む生徒を育てる学校、・母校への誇りと地域への愛を持ち続ける生徒を育てる学校、・「骨太の人格」を備え、21世紀を支える人材をつくる学校、の3つです。今回の診断結果を分析し、次年度に向けて、学校生活のさらなる充実や、希望進路の実現のための新たな取組を検討しています。